

政策・施策・事業整理票

生涯学習
政策局

政策

政策目標	1 生涯学習社会の実現
概要	国民一人一人が、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会を実現する。



施策

※平成29年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	1-5 ICTを活用した教育・学習の振興
施策の概要	高度情報社会を担う人材を育成するための教育・学習を推進するとともに、ICT(情報通信技術)を効果的に活用した教育・学習の機会を充実する。
達成目標1	情報教育の充実及びICT(情報通信技術)を活用した効果的な指導が行われる。
達成目標2	学校におけるICT環境整備を促進する。



事業

※平成30年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	次世代学校支援モデル構築事業		
事業の目的	新学習指導要領においては、児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるよう、ICTを活用して、個に応じた指導の充実を図ることとされている。一方で、 日々の学習記録等は紙で記録されており、個に応じた指導の充実に向けた、学校全体でのデータの共有や有効活用が行われておらず、教員による学習指導・生徒指導等にばらつきがある。 このような状況を踏まえて、当該事業の実証研究を通じて、 データに基づいた学習指導・生徒指導の質の向上、学級・学校運営の改善等の実現を目指す。		
事業概要	児童生徒が学習用コンピュータ等を活用した際の学習履歴等と、教員が校務事務で入力したデータ等を連携・活用して、学びを可視化することを通じ、教員による学習指導や生徒指導等の質の向上、学級・学校運営の改善等 を図ることを目的とした実証研究を行い、 データの在り方の検討やデータに基づいた学校運営等の有効性等を検証する。 具体的には、学習記録データ等の可視化・共有・分析等を行い、「児童生徒自身の振り返り」、「学級・教科担任の個に応じたきめ細やかな指導の実現」、「学校全体の運営改善」、「教育委員会における政策立案」等への活用を図る。 実証の成果として、データに基づいた学校運営等の手法・効果をまとめ、各教育委員会及び学校へ展開する。		
アウトカム	①	定量的な成果目標	各実証地域における、データの利活用による学習指導・生徒指導の質の向上
		成果指標	各実証地域において、「データの利活用により、学習指導・生徒指導が充実した」と回答する教員の割合(平成31年度に実施)
アウトプット	(1)		実証地域における、データに基づいた学習指導・生徒指導の実践事例数
アウトプット	(2)		データに基づいた学習指導・生徒指導の質の向上の実践に関するポイントを整理したガイドブック及び効果的な取組を整理した事例集の作成数
本事業の成果と上位施策との関係	事業の取組により、校務の情報と学習記録データの連携・活用による、教員の学習指導や生徒指導等の質の向上、学級・学校経営の改善等の教育の質の向上が図られ、ICTを活用した教育・学習の振興が一層促進される。		